東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6910号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２Ｆ
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙

天の岩戸開き神事 厳かに斎行

平成28年12月23日・枚岡神社で

中東弘宮司（右から３人目）とやまとふみこ社中の皆さん

陽気なクラウン（左）と巫女さん

天の岩戸開きの再現シーン

昨年12月23日（天皇誕生日）、前日までの豪雨が嘘のように晴れ上がり神事にふさわしいお日柄を迎えた。午前10時に新しい年を迎えるための「注連縄掛神事」に引き続き、古来より伝わる「お笑い神事」が斎行された。中東宮司の能狂言で鍛錬した発声で「アッハッハッー」と、参詣者の大笑い合唱が20分間続く。参詣者は総数3500人を超えていた。大笑いの合唱は枚岡神社の杜をこだましていた。

参詣者はインバウンドの影響もあってか、スペインの女性、カナダからの夫婦など国際色豊かな人達が数多く、輪になって笑い踊る姿が目についた。

午前11時からは「大笑いコンテスト」が開催され、ウクライナ美女・ユーモアコンサルタント・人気漫画家・養蜂俳優等々多士済々のユニークな出場者が会場を大いに沸かせていた。

その後参道広場にて、やまと舞（やまとふみこ社中）、瓢箪山戦隊ショウフウジャー（枚岡樟風高校）、大道芸（時代屋一座）、ありがとうまつり（ありがとう講）の催しものが繰り広げられ、参詣者の大きな拍手を呼んでいた。

午後5時半からは中東宮司のプロデュースによる「天の岩戸開き神事」が本邦初斎行された。お笑い神事の起源となる「天の岩戸開き」の故事来歴にならい、80人を超える巫女が出演し神話の世界を幻想的に再現した。

当日はNHK、民放TV各局が「お笑い神事」を取材に訪れ、昼や夕方のニュース等で放送した。

（小川秀人）

創業37年迎え革命の年に

株式会社カナオカ機材
代表取締役会長兼CEO　金岡　重雄

中河内名士　年頭あいさつ

新年おめでとうございます。

今年の干支は「丁酉」。字義的に見ると「革命の年」になるとか。今年4月に創業37周年を迎える当社も革命の年にしたいと思っている。だが、「着眼大局　着手小局」で慎重に進めていきたい。

ところで、ラグビーワールドカップが2019年に花園ラグビー場などで開かれる。東大阪市にとって、大きく発展するための千載一遇のチャンス。市当局も開催に向けて頑張っておられるようだが、いまひとつ盛り上がりに欠ける。東大阪市民ですら、地元開催を知っている人が、どれほどいるのだろうか。寂しい限りだ。加えて、2025年万国博覧会の大阪招致構想が浮上し、話題をそちらにさらわれてしまっている。このままだと、折角のチャンスをふいにしてしまいかねない。

時はアッという間に過ぎ去る。市当局は危機感を持って1日1日を燃焼していただきたいし、我々も他人事と思わず、できる限りの応援をしようではないか。

東大阪商工会議所 新年賀会

地域経済発展に尽力

日本経済の真価が問われる1年

年男による鏡開き（左から２人目・大澤秀史さん）㊤、新年のあいさつをする嶋田亘会頭㊦

東大阪商工会議所の新年賀会が1月7日に東大阪商工会議所（東大阪市永和1）で開かれた。

嶋田亘会頭のあいさつでスタート。日本経済の真価が問われる1年になるので、気を引き締めて地域経済の発展に力を尽くしたいと抱負を述べた。2019年ラクビーワールドカップ、東大阪商工会議所の移設などにも触れた。

次に来賓あいさつに移り、宗清皇一衆議院議員、池森啓雄近畿経済産業局長、野田義和東大阪市長、西田和彦東大阪市議会議長が祝いの言葉を述べた。

恒例の年男による鏡開きには、昨年旭日小綬章を受けた大澤秀史さんも参加し、酉年の始まりを祝った。

クリアファイル・クリアブック
オフセット印刷のことなら
有限会社 木須商店
本社工場　大阪府八尾市西弓削3丁目70番地
〒581-0035　TEL 072-949-1147　FAX 072-949-1047
http://www.kisu-sp.com/　E-mail info@kisu-sp.com

なつかしい写真

近鉄電車

（写真提供）読者・坂口功氏

撮影時期　昭和33年７月ごろ
撮影場所　油阪（廃駅）ー奈良間
道路併用区間（軌道部分）を走行する
大阪ー奈良間　800系　鹿特急

800系電車は、昭和30年に製造され、この時代から近鉄は赤色の電車となりました。それまでの電車は、緑色です。

近鉄では、最後まで唯一特急でありながら特急料金が不要で、昭和47年まで活躍しました。

その後は、快速急行の誕生によりその姿を消しました。

公演成功プレ企画

嵐圭史さん トーク&朗読会

前進座85周年記念公演「怒る富士」

ソフトな語り口で参加者を魅了する嵐圭史さん

3月10日に八尾市文化会館プリズムホール（八尾市光町2）で前進座85周年記念公演「怒る富士」が開かれる。その公演成功プレ企画として、主演の嵐圭史さん（77）のトーク&朗読会が昨年12月16日にどんぐり薬局3階ホール（東大阪市長瀬町1）で開かれ、約60人が集った。

「怒る富士」は民百姓を救った関東郡代、伊奈半左衛門をテーマにした舞台。原作は新田次郎。1707年に富士が火を噴き、山麓の村々が焼け砂に埋まり、田畑は壊滅。幕府の裁定は亡所。そんな幕府の命令に従わず、命を懸けて飢えに苦しむ民百姓を救うために立ち上がる伊奈半左衛門。

2時間のトーク&朗読会はあっという間に過ぎた。「3月の公演が待ち遠しい」と会場のあちらこちらから聞こえてきた。

晴耕雨読

衝撃と混迷の年初

東京市場は株高・円安で新年を迎えた。4日の日経平均株価は1万9,594円で昨年来高値を更新。幸先がいいと感じたのもつかの間。早くもトランプ弾がさく裂した。衝撃と混迷の2017年の幕開けだ。5日、トヨタ自動車のメキシコ工場建設着手に対して、「米国に工場をつくれ、さもなければ巨額の関税を払うことだ」と攻（口）撃。すでにキャリア社やフォードはメキシコ進出を断念させられ、GMにも迫った。

米国国内の雇用や賃金上昇など経済環境は上向いている。グローバル生産体制を断ち切り米国回帰を強要するのはなぜか。メキシコに対する偏見と憎悪か。NAFTA（北米自由貿易協定）やWTO（世界貿易機関）のルール破りのためか。トランプ流ビジネス交渉術なのか、パワーの誇示なのか。国内生産された高価格の車を消費者は受け入れるだろうか。自由貿易を否定すれば結果的に「天を仰いでツバする」。

「トランプ顔負けの過激な主張や後ろ暗い過去を持つ」閣僚が上院公聴会で承認される確率をニューズウィーク誌（日本版1月3・10日号）は報じている。特にロシア石油ビジネスでプーチン大統領と親密なのが国務長官だ。未開発地のシベリアと北方四島などの開発狙いか。執筆中（1月9日）に台湾の蔡総統の米国訪問ニュースが流れた。新秩序の始動だ。

TPP（環太平洋経済連携協定）に代わって新しい造語を思いついた。トランプとプーチンのパートナシップ（連携）とプロブレム（問題）というTPPだ。

安倍首相は両氏との信頼関係のもとでG7の古参格として存在感を示すチャンス。トランプ、プーチン、習近平の3巨頭の言動は地球規模で波及する。トランプ大統領就任演説の1月20日は世界を塗り替える歴史的な日となるだろう。

NAKAGAWA 酒菓家

お酒とお菓子のマリアージュ

オーナー　中川美由紀さん

「お酒とお菓子は意外に合いますよ」と笑顔で話す中川美由紀さん

近鉄河内小阪駅南口を出て東へふらりと歩いて行くと、ほろほろとした可愛い字体で店名が書かれたのれんが目に留まる。昨年9月23日にオープンした「酒菓家NAKAGAWA」だ。

オーナーの中川美由紀さん（46）は、京都の和菓子屋などで現場経験を積み、京都製菓技術専門学校で9年間講師を務めたという和菓子のエキスパート。「お酒とお菓子の素敵なマリアージュを楽しんでほしい」という思いのもと、お酒のあてから和洋スイーツ・デザートまで、豊富なメニューを用意している。親しみに溢れた笑顔と話し方で、知らず知らずのうちに気持ちを解いてくれる中川さん。

料理もやはり、食べた人の顔全体を思わず綻ばせるものばかり。親しみ感満載のメニュー名で、頼みたくなる「なすのたいたやつ」は、ほろっとした優しい口溶け。それでいて喉を通ってしまうのが惜しくなるほど、すみずみまで丁寧な味付けで、身も心もとろけてしまう。他にも、「高野豆腐とゆりねの玉子とじ」「自家製オイルサーディン」「さんまの梅じそまき」「酒菓家の手羽先」など、お酒を飲む人はもちろん飲まない人も心が躍る料理ばかり。

デザートに「みゆきのプリン」を頼めば、たっぷりかけられたソースの甘みにまた口元が緩むこと間違いなし。お腹と心を満たしてくれるアットホームな空間は、1人でも大歓迎。グループでの貸し切り（15人まで）も受け付けている。

（巻幡あす香）

酒菓家 NAKAGAWA
〒577-0803
東大阪市下小阪1-1-33
岸田ビル１Ｆ
☎06-6753-7605
営業時間　17：00～24：00
定 休 日　水曜日・第４火曜日

認定証　明日の有名人に認定します

ウエス販売
≪商品紹介≫
～色メリヤスウエス～　（１ｋｇ￥350）
～混合ウエス～　（1Kg￥150）
～タオルウエス～　（１ｋｇ￥400）
～タオル雑巾～　（１Ｋｇ￥600）
☆不用になった中古衣料やタオルから、ウエスに適した原料だけを選別加工し商品として仕上げました。障がいを持つ利用者が手作業で丁寧に裁断し、梱包をしています。地球に優しく、皆様に愛される商品を目指しています。
社会福祉法人ヤンググリーン
障害福祉さぽーとライフグリーン
〒578－0905
東大阪市川田4－4－8
ＴＥＬ：072－963－4838
ＦＡＸ：072－963－4855

根川医院
診療科　内科・小児科
住所　〒577-0807 東大阪市菱屋西6-2-28（千日前通り結婚式場ベル産業道路沿い）
診察時間　月～土　午前9時～午前12時　祝・日・火・水・木・金　午後6時～8時　夜　夜
休診日
TEL 06-6781-1253
FAX 06-6781-8406

本は著者の分身
記憶は一代、記録は末代
自分史・社史
「著者と編集者が二人三脚で本作りをモットーに親身になって本作りをします。
お気軽にお電話下さい。
株式会社ドニエプル出版
TEL072-926-5134

馬肉専門店
桜家
熊本地震で被災された方々にお悔み申し上げます
美容と健康に最高
馬刺し盛り合わせの1刺を義援金にさせていただきます
桜家　店主
東大阪市長堂1－3－6
近鉄布施駅北へ徒歩1分（宮本むなし隣）
TEL：06-7651-0827

コート・ダジュール ファミリー カラオケ青山店
超大型店
カラオケ コート・ダジュール 青山店
チコちゃん
黒木ひろし　アジアの声楽家 黒木千里　店長 黒木宣博　TEL.072-998-8288

大好評につき受注後約20日で納品します
災害時対応の「人引車（じんびきしゃ）」
日常は室内で使用、緊急時は避難用に使用
パイプイス人引車 26,500 円（税別）
室内外兼用人引車 77,500 円（税別）
一般社団法人災害避難研究所
マツモラ産業株式会社　共同開発
監　修（一社）災害避難研究所
企画開発　大興産業株式会社
製　造　マツモラ産業株式会社
ＴＥＬ　072-925-3450
HIGASHIOSAKA
大阪の元気！ものづくり企業

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南６－２－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

宮川真由美さん（左）と筒井裕之さんが「スペイン」「ふるさと」をジャズアレンジで演奏

平成29年 年賀交礼会 八尾市 八尾商工会議所

各界の関係者ら約７００人が一堂に集う

平成29年、酉年の年頭を飾る年賀交礼会（八尾市・八尾商工会議所共催）が、1月6日、八尾市立総合体育館（八尾市青山町3）のサブアリーナで開かれた。政界、産業界をはじめ、市民団体や市政功労者、市関係者など、市内外から約700人の来賓が一堂に会して、新年のあいさつを交わし、交流を深めるとともに今年1年の互いの活躍と八尾市の発展を祈念した。

交礼会の会場となるサブアリーナの入り口では、田中誠太八尾市長と池尻誠八尾商工会議所会頭らが新年のお祝いの言葉をかけながら来場者を出迎えた。

来賓の中には、八尾市選出の大阪府議会議員ら政界関係者の姿も多く見受けられた。

会は、午前11時に平成25年八尾市文化新人賞受賞者のギタリスト筒井裕之さんとピアニスト宮川真由美さんによる演奏で幕を開けた。

主催者あいさつでは、田中市長が「今年は中核市移行に向けた準備をしっかりと進め、基礎自治体としての使命をより一層果たすべく、市として全力を挙げて取り組んでいく。これからも地元企業をはじめ、市民や団体の皆さんにも力を借りながら、共に歩み、八尾市にとって素晴らしい1年にしていきたい」などと話し、池尻会頭は「商工業を取り巻く環境はいまだ厳しいが、酉年の今年が大空を飛ぶ鳥のように皆さんと一緒に大きく羽ばたくことができる1年となるよう、商工会議所として全力を挙げて様々な支援をしていきたい」と今年の抱負を語った。

その後、重松恵美子八尾市議会議長による乾杯の発声が行われ、新春の華やかな雰囲気の中、約1時間にわたり、各界出席者らがあいさつや交流を行った。

会の最後には参加者全員で万歳三唱を行い、今年1年の活躍と発展を誓い合った。

新年のあいさつをする池尻誠会頭

進化する企業

「SOMALI」シリーズでハウスケア文化をつくる
木村石鹸工業株式会社 ―①―

木村祥一郎社長

久宝寺駅から府道179号線を近畿中央自動車道方向に歩くこと10分少々。八尾市北亀井2丁目あたりに来ると部品メーカーやプレス加工などの工場から機械音が流れてくる。住工混在地の中に歴史をしのばせる煙突が見える。液体せっけん「SOMALI」シリーズで脚光を浴びている木村石鹸工業の本社工場だ。木村祥一郎社長（44）を訪ねた。

つないでいく固有技術

1924年創業以来、油と苛性ソーダを混合して釜でたいてつくる石鹸の製法は変わらない。材料などの微妙な配合や粘度などはいまだに熟練職人の感性が決め手となる。時には自らの舌でなめたりしてアルカリの強弱を確かめる。一般的に、これらの作業はコンピューターによる自動制御だが職人の技にこだわっている。「父（現会長）が伝えてきた固有技術は継承されており途切ていない」と3年前に社長を引き継いだ木村祥一郎社長は話す。「時たま、父は直に自分でやる」と言い出すが心配はしていない。社員が3～4人でチームを組み先輩から教えらているからだ。この技の習得は「自分で実際にやっていく、やらないと分からない」ものだと言う。

経営の世代交代

今でこそ自社ブランド販売で表舞台に立つが、3年ほど前までは裏方に徹していた。1990年代に家庭用洗剤に乗り出したが売れなかった。その時、生活協同組合（生協）へOEM（取引先のブランドで販売される製品の受注生産）供給することになった。「生協さんの安全・安心に関する厳しい環境基準や品質管理の要望に応え順応してきたことで技術的には自信が深まり、得意な分野になった」と振り返る。しかし、ドラッグストアや大型量販店などの安売り競争が激化し、利益の確保が難しくなった。その頃、父・幸夫社長は健康上の理由で一線を退かざるを得なくなり、現社長の祥一郎氏が大学4年（1995年）の時に立ち上げたベンチャー企業（我が国初の検索エンジンを開発）を辞めて東京から戻り社長を引き継いだ。

「SOMALI」開発

祥一郎社長は「見せ方や売り方を変えれば良いものは必ず売れる。大手のやり方は消費者にイメージで大量に販売するが、本当に良いものは何かを消費者に知ってもらえば売れる。自分たちで作り売ろう」と決意する。洗剤には洗浄力を高める合成界面活性剤などには石油化学物質など悪いものもあり、いろいろなものが混じっている。「ウソやごまかしはやめよう。そのためには成分を開示し、成分の特性・性質などの情報を明示する。普通に油分が落ちるのであれば、ことさら強調しないでもよいのではないか」と考え決断した。

（石河亮平）

「本当にいいものは何かを知ってもらいたい」

木村石鹸工業株式会社
八尾市北亀井町2―1―30
☎072―994―7333

左からジョージさん、西田伸恵代表、イリックさん、本紙小野元裕

アロマと健康のお店 thanks to Aroma 表敬訪問

ガボン共和国の外交官 ジョージさん夫妻

中部アフリカにあるガボン共和国の外交官ジョージさんと妻のイリックさんが日本に来ている。１月７日には「アロマと健康のお店 thanks to Aroma」（八尾市青山町５－８－１）を表敬訪問。代表の西田伸恵さん（45）と親交が深いことから実現した。

夫妻は現在モスクワにある大使館にいるが、次は東京の大使館で勤務したいと話した。家族全員日本びいきで、日本で暮らすことを楽しみにしている。

【取材メモ】取材は英語でスタートしましたが、夫妻がロシア語を流暢に話すことが分かり、途中からロシア語で行いました。

（小野元裕）

連載小説

ウクライナを歩く ―― ⑦⓪

小野元裕

カウントダウン

大晦日。ドニプロペトロフスク滞在中にセルゲイ君から電話があり、カウントダウンはキエフのセルゲイ君宅ですることに。彼はラジオのDJとして活躍しており、年越しはミュージシャン仲間と朝まで飲むという。なぜかミュージシャンではない私にまで声がかかった。

夜の9時過ぎにシャンパンとチョコレートを持ってセルゲイ君の家を訪ねた。

ドアを開くと、すでに数人の男女が飲めや歌えのどんちゃん騒ぎをしている。さすがミュージシャンの集まりだ。ギターを弾く者、トランペットを吹く者、高音で歌う者が入り乱れているが、心地よいサウンドで耳に入ってくる。

大音量だ。日本では隣近所から苦情が出るが、ウクライナではない。どんなに大きな音を出しても、どんなにドタバタしても、下の部屋からも横の部屋からも苦情は一切ない。大晦日だから特別というわけではなく、普段からそうだ。

「待っていましたよ」

セルゲイ君が人懐こい笑顔で迎えてくれた。奥さんのニーナが大きなお腹を抱えながら満面の笑みをたたえている。この夫婦の笑顔は最高だ。会うたびにそう思う。

シャンパンとサマゴン（自家製ウオツカ）を数杯飲んでいい気分になり、日本のポップスを歌った。ギタリストが歌に合わせて伴奏してくれ、乗りに乗った。

気づくと後少しで年越しだ。

皆、グラスにシャンパンをなみなみと注ぎ、カウントダウンを待つ。さ、いよいよカウントダウン。10、9、8…3、2、1。新年おめでとう。

ロシアを蹴散らし、ウクライナに平和が訪れるよう、口々に叫びながら祈った。外では花火が打ち上げられ、夜空をきらきらと照らしていた。

笑う税理士 ⑨

税理士 上西　知

消費税の簡易課税は簡単ではない③

消費税の簡易課税制度は、売り上げだけから納税する消費税を計算する制度なので、仕入や経費に含まれる消費税を一つの取り引きごとに計算する必要がない分、簡易ではあるかも知れない。

計算を簡単にするための簡易課税制度であるが、ほとんどは税理士が関与しているとするとやっかいな話である。現に無料相談会場に来る事業者は少なく、来ても売り上げが1、000万円に満たないために免税である。これは私の実感であるが、一般課税（普通に計算する方法）と簡易課税はどちらが得なのかというところに実は納税者の関心は向いている。税理士が説明するからだ。

しかし、税理士に依頼している納税者が判断できるかというと難しくてできない。そこで活躍するのが税理士ということになるが、税理士が計算するなら簡易でなくても計算できるのであるばかりに損をしたと感じたりするのだ。

納税者にしてみると税金は1円でも安い方が良いから、どちらが良いか判断を委ねてくるのだ。私も一所懸命考えるが、毎回判断を誤る納税者がいる。未来はよく分らないから?…

で、何のための簡易課税かとなるのである。また簡易課税制度を選択するためには、その年（事業年度）の始まる前までに書類を提出することになっていることもややこしくしている。この書類（簡易課税選択届出書）を提出すると2年間は変更ができないことになっているが、これもややこしくしている。つまり未来を予想しないといけないということである。

この場合、明らかにどちらかの制度が有利とわかれば良いが、微妙なケースである場合は判断を迷うことになる。一般課税はもらった消費税から支払った消費税の差額を納めるので絶対に損をしたということはないが、簡易課税が一般課税はもらった消費税から支払った消費税の差額を納めるので絶対に損をしたということはないが、簡易課税が有利とわかれば良いが、微妙なケースである場合は判断を迷うことになる。

連載 小説

感触 ―⑫―

最終回

嶋津 亮太（八尾市在住の小説家）

血は涙と同じ成分らしい。色があるか、ないか。ほぼ同じ原料で作られ、体の中を流れる。僕の中にある狂気と道徳心のように。相容れない思想、感情が「僕」という体の中で共存する。もしかするとそれは血と涙のように原料は同じなのかもしれない。色があるか、ないか。ただそれだけのことなのかも。

河川敷でホームレスを殺した。遺体が発見されたのは思っていたよりも早く、次の日の夕方にはニュースで流れていた。僕はじっとテレビ画面を見つめていた。怯えと怒りと憂えが混ざり合ったその表情を見て、昔から母親はこうだったな、と思った。まさか実の息子がその犯人だとは思いもよらないだろう。今ここで打ち明ければどんな顔をするか。泣くだろうか、怒るだろうか、それとも冗談だと思って笑うだろうか。どうなるにせよ、僕は一言も口を開かずただじっとテレビ画面を見つめていた。

通り魔未遂の事件は報道されなかった。朝夕の新聞を隈なく探したがどこにも見当たらなかった。

人を殺した帰り道に人助けをするとは思わなかった。くだらないコントのようだと思った。興味本位で人を殺す人間が通り魔を撃退するなんていうことは設定が破綻している。思い返してみても可笑しかった。自分は悪い人間なのか、良い人間なのか。そんな単純な問題ではないほど自分という人間は愚かなのだと思い知った。結局は体の反応するままに行動しているだけだ。反応が生む波紋に後付けで理由を立てて、自分を納得させようとしているに過ぎない。人間は思っていたよりも単純な生物なんだ。

親愛する友が死んだ通夜の帰りに友人と冗談を言い合って笑っている。ペットの犬を大切にしていても牛の死骸は涎を垂らしながら焼いて食う。不倫をしていながら、妻が病死する映画を観て涙を流す。

人間は単純な生き物だ。その瞬間、瞬間の反応に喜び、悲しみ、怒り、笑い、感動する。どの感情も行動も嘘ではなく、そして疑うことさえない。僕も例外ではなく、反応に従順なつまらない人間だった。

体がひどく疲れていた。肩や太腿の辺りに筋肉痛が出た。慣れない体の動きをしたのだろう。その時は興奮していて気付かなかっただけで、相当体に負担をかけていたようだ。目が覚めるまで全身が強ばっていたのかもしれない。精神的なものもあるだろう。連続殺人事件などの犯人は類稀なる体力の持ち主なのだろうと感心した。

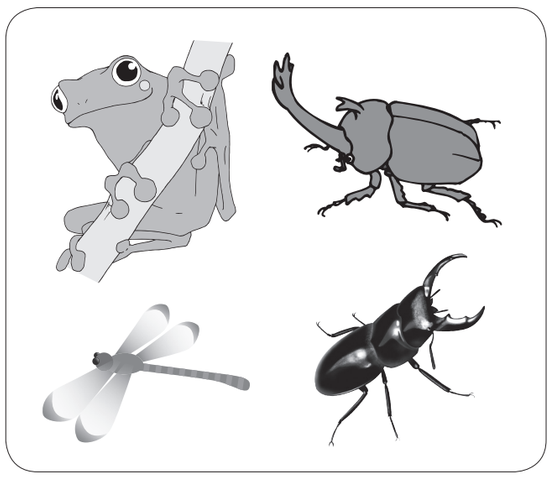
死んでも悲しまれない人間。それをターゲットにすることがテーマだった。むしろいなくなると喜ばれる人間の方がなおいい。害虫と同じだ。僕が駆除し続けてきたゴキブリと何ら変わらない存在。近くにいるだけで迷惑。それがホームレスだった。

衛生的な問題や、治安の問題で世間から敵視されている。誰も口に出しては言わないが、生きているだけで害なのである。電車の中で煙草を吸っていたあの浮浪者に注がれる痛々しい視線。注意さえもできない。それは、誰一人として彼と関わることを拒否しているからである。社会の代弁者として自分が制裁を下すにはうってつけの素材。

死んでも悲しまれない、ということはその者の近くにいる人間の数が圧倒的に少ないということである。つまり、恋人もいない、家族もいない、友人もいない、社会とのネットワークからはみ出したところに存在する人間。繋がりを持たない人間のことである。いくら凄惨な事件といえども、形だけの弔いと悲しみの後は砂浜を波が洗うように全てを流し去ってくれる。その事件は誰の記憶からも消えていく。

殺した後、後悔の念はなかった。ふと思うことは、都会でジビエ料理を談笑しながらたいらげる女性はどんな精神状態なのだろうということだった。僕の行動は狩猟に似ている。それが報道されるということは、料理にして提供することに近い。世間の印象は一体どのようなものなのか。そこから生まれる感情は一体どのようなものなのか。

怒りなのか、悲しみなのか、祈りなのか、歓喜なのか。ただ想像に難しくないことは、ジビエの味はまずくなければどうでもいいということ。美味しいからジビエを食べに行くのではない。珍しいから食べに行くのだ。料理を味わいたいから行くのではない。友人と話がしたいから行くのだ。つまり、退屈にならないための道具に過ぎない。ニュースも同じである。日々の退屈を凌ぐための道具に過ぎない。珍しければそれでいい。家族や友人の話題の一つにもなればそれでいいのだ。



それを言い当てるかのように河川敷でホームレスが殺された事件は見る見るうちに報道されなくなった。誰も口にも出さなくなった。殺人事件といえども最近のニュースは色褪せるのが早い。一つには僕の狙いでもあった、被害者に繋がりがなかったからというのも原因だろう。警察も捜査しているのかと疑うほどに平穏な日々が過ぎていく。

僕は二度目の殺人を犯すことを決めた。今思えば、捕まりたかったのかもしれない。人を殺した時に味わったあの感触。快楽。をもう一度味わいたい、という気持ちではなかった。実際に人を殺してみて、達成されたと同時に僕は何かを失った。敷き詰められた細胞のクラスターが凝固し、崩れるように僕の中に生まれた喪失感は精神を追い詰めた。二度目の殺人は僕を、そう、僕自身を納得させるための殺人だった。

あの日、予備校の先生と再会して芽生えた感情。目的を達成した時に感じた「本当にしたかったのはこれなのか」という疑い。その答えを出すためにはもう一度、そう理論を越えたところでの殺人を犯す必要が僕にはあるのだ。

理由付けして犯す殺人とは違い、己の感情のありのままに従った殺人を。僕が納得するような、世間が納得するような。その瞬間に生まれる「反応」だけを信じて。

僕は大学へと向かった。

（おわり）

八尾シティーコンサート Part88
石川綾子 ヴァイオリン・リサイタル
2017(平成29)年3月24日(金)
19：00開演(18：30開場)
八尾市文化会館プリズムホール
★チケット料金★
一般　3,000円(当日300円増)
フレッシュシニート＋　1,500円＜大学生以上25歳以下＞
フレッシュシート　1,000円＜小・中・高校生＞
テレビ朝日「関ジャニの仕分け∞」「題名のない音楽会」など、メディア出演多数の全豪No.1ヴァイオリニスト、石川綾子。
ヴィヴァルディからポカロ、おそ松さんまで、ジャンルの壁を超えたバラエティ豊かなプログラムに楽しんでいただけること間違いなし！　繰りなげられる超絶技巧は、ヴァイオリンの常識をくつがえすほど。石川綾子が魅せる、「こんなヴァイオリンは初めて！」をお楽しみください。
★プログラム★
モンティ：チャルダッシュ
ピアソラ：リベル・タンゴ
久石譲　：君をのせて(「天空の城ラピュタ」より)
黒うさP：千本桜
96　　：はなまるぴっぴはよいこだけ(「おそ松さん」より)ほか
※プログラムは変更する場合がございます。予めご了承ください。
PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ
プリズムホールチケットカウンター ☎072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット http://prismhall.jp/

元気になれ！
ヘム鉄ゼリー
1粒にほうれん草30株分、プルーン300粒分の鉄分補給！
黒粒ヘム鉄ゼリーは、ヘム鉄と、瞳に優しいアントシアニン色素、ビフィズス菌の栄養になる（善玉菌を増殖させる）オリゴ糖、そして、スギナ・ヨモギなどをバランスよく含有したゼリーです。
430ｇ（50粒）
￥4,104（税込）
（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

楽しい仕事が見つかります！
障がい者専用求人
未経験大歓迎！
月給モデル 90,527円
（4.5時間／日、1ヶ月23日で皆勤手当含）
①裁　断
生地の地の目を整える作業により、製品化後の変化や縫み等を最小限に抑えます。1着1着、サイズ・デザイン・動き等を考慮し裁断します。
②縫　製
一切、直線や平面のない人体に平面の記事を添わせるには、アイロンワークと立体を生み出す縫製が重要です。この技術こそが長年の修練の賜物であり、我々が継承したいものなのです。
③仕上げ
この時点までは、出来上がった服は言うなれば化粧前。最後の仕上げプレスによって服は命を吹き込まれ、人に寄り添うパートナーとなります。

NPO法人 テイラーズ・ギルド
電話　072-943-1647（担当／森川）
八尾市久宝寺4-4-30

第５回世界に羽ばたけ『夢』スピーチコンテスト
支援金額：120万円
【本選開催日時】平成29年10月（日にち未定）
14時～17時
本選開催場所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
住所：大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10
主催：一般財団法人青少年夢応援隊
協賛：株式会社サンクレスト
後援：大阪府、東大阪市
公式サイト：http://yumeouentai.com
【開催趣旨】
将来の夢や目標があるが、経済的支援を必要とする若者が自身の「夢」をテーマにスピーチを行い、受賞者を選定、支援金権利を授与いたします。
【応募資格】
大阪在住または在学・在勤の16歳以上25歳までの青少年（1992年4月2日～2002年4月1日生まれの方）
【出場者一次選定】
作文を基にスピーチコンテスト本選出場者10名を選考いたします。
①公式サイトより『出場申込書』をダウンロードし、必要事項を記入
②「夢」というテーマで作文を書いていただきます。
また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。
※原稿用紙（400字詰め）にて3枚まで
※手書き、パソコン等問わない
③応募方法：「出場申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。
※「出場申込書」と「原稿」はHPよりダウンロードしてください。
※メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。
④送り先：郵送の場合　宛先：大阪府東大阪市南上小阪12-42
一般財団法人青少年夢応援隊　スピーチコンテスト企画係宛
メールの場合　info@yumeouentai.com
問い合わせ☎06-6725-0511
⑤原稿締切：平成29年8月31日（木）必着

東大阪の企業　株式会社サンクレストが応援しています